



9月の園だより



令和5年9月1日
目黒区立鷹番保育園園長

子どもの人権に配慮し、2歳児クラスでは今年の水遊びから衣服着用のまま行うようになりました。ダイナミックに水を掛け合ったりするのではなく、キューピー人形を洗ったり、氷の感触を楽しんだり、色水の色が変わる不思議さを発見したり、たっぴりと水遊びを楽しむことができました。また、5歳児クラスでは自分の身体を大切にすることなどプライベートパーツの健康教育も行ったうえで、ついたてを使って着替えを分けました。保護者の方にご協力いただき、ラップタオル等も使用し、体が見えないように着替える方法も覚えめました。保育士は子どもへの声の掛け方等、子どもを尊重しているか“自己チェックシート”を用いてセルフチェックしています。『保護者が安心して子どもを託すことができ、職員とともに子どもの成長を共感できる保育園づくり』は運営の柱の一つとして掲げていますが、何かお気づきのことがありましたら、いつでもお声掛けください。

保育室や遊戯室から5歳児の「すっとなすっとなどーんどーん」とぶち合わせ太鼓の口伝が聞こえてきます。今年もそんな季節になったのだなと深く心に感じるものがあります。子どもたちの心の中に友達と「合わせよう」という気持ちが出てきたようで、そのために自分がどうすればよいのか考えて“練習しよう”と自主的に練習する姿も見られます。プール活動で目標を設定し、達成する経験をした子どもたちは新たなる目標を決めているのでしょうか。来月、鷹番小学校をお借りして、鷹番保育園最後の運動会を開催いたします。今年はいよいよ全園児での運動会にしたいと思います。ご兄弟はもちろん、転園していったお友達、卒園児、そして保護者の皆様も楽しめる運動会にしたいと思いますので、運動できる服と靴でのご参加をお待ちしております。詳しくは後日お知らせいたします。

行事予定

引き取り訓練
身体計測
避難訓練



今後の予定

運動会
芋ほり遠足



☆詳しくは後日お知らせします☆

「見て。こんなに大きくなったよ」

幼児フリー

毎朝登園すると、保育士と一緒にジョーロを持って、園庭や玄関前の野菜や花に水やりをしています。水道を何度も往復するうちにペットボトルに水を入れ、ジョーロとそのペットボトルを持ち歩くことで、ジョーロの水がなくなってもペットボトルから水が入られる事に気づいた子がいました。他の子どもたちも「それいいね」と真似をしています。子どもたちが効率の良い水あげの仕方を考えてくれたおかげもありがとうございます。野菜は大きく育っていききました。

ある日、イエローポップに水をあげていた子が、「先生見てみて」と驚いた声で保育士を呼びに来てくれました。「どうしたの」と尋ねると「イエローポップ、大きくなってよ」と教えてくれると、自分もその隣に立ち「僕より大きい」と背比べをしていました。ナスやピーマンを収穫した時も、調理してもらい、食事に出てくると「〇〇ちゃんが採ってくれたピーマンだ」と苦手な子どもたちも食べようとする姿がありました。

毎日水やりをしていく中で、友達と一緒に観察をしながら、生長することを喜び、収穫することを楽しみにしている子どもたちです。

プール遊びで成長した姿 ～5歳児クラス～

7月からプールが始まり毎日のように入っていると、友達の泳ぎに刺激され“けのびをきれいに”“息を止めてもっと長く泳ぐ”と自分のなりたい姿が具体的になってきました。そこで、今できる一番自信のある泳ぎを見せ合うことにしました。「〇くんは自分にできない泳ぎができてすごいと思った」「△ちゃんみたいにビート板できれいに泳ぎたい」「もっと長く顔つけをがんばりたい」と、認め合う言葉が多く聞かれ、自分の新たな目標ができてさらに気合が入る子どもたちです。

水に顔をつけるのだけで精一杯だった子もいましたが、段々と顔をつけて泳ぐことにも慣れ、友達がやっていた“潜水”にも挑戦する姿がありました。潜る感覚が掴みやすいように保育士が水にビート板を浮かせ「この下を泳ぐよ」と知らせると、「なんかできそう」と勢いよく水に入っていきます。なんと一回で成功、「潜れたよね。次はビート板2枚にして」とレベルアップしていき、どこまでできるか試している姿が見られました。

顔をつけて泳げるけれど、すぐに苦しくなって顔を上げて泳ぐのをやめてしまっていた子もいました。まだ水への恐怖心が消えていないような表情でしたが、「けのびが上手に泳げるようになりたい」と目標ができた頃からプールでの表情も変わってきました。「壁を強く蹴ったら、けのびでたくさんすすめるよ」と友達にコツを教わりながら、少しずつ距離が伸びていき「今日はここまでだったから、明日はここまで泳げるようにがんばる」と次の目標を持ってがんばる表情は真剣そのものです。目標に向かって取り組み、達成感を味わいながら、友達とがんばりを認め合う姿に成長を感じました。夏の遊びでついた自信を糧に、今後はクラスみんなで一つのことに向かって頑張っていく姿に繋がっていくと思います。



子どものつぶやき、ほのぼのエピソード ～2歳児クラス～

テラスで水遊びをしていた時の事です。
洗面器に緑と赤の色水を混ぜた子が「ぶどういろになったよ」と驚き、友達に教えています。「これもいれてみようよ」と、黄色（少し濃いめに作ってあります）を持ってきた子がそっと注ぎ入れました。するとまた色が変化し、みんなで洗面器をのぞき込み「おおー」と2度びっくりしています。大発見の夏となりました。

水遊びが終わり、着替えていると、コガネムシを発見。みんなで観察していると「なんで虫さんきたんだろう」と不思議そうにしています。「なんでだろうねー」と返すと「きっと虫さん保育園に遊びに来たかったんじゃない」と嬉しそうに言う姿が可愛らしかったです。

「おむすびころりん」の絵本を初めて読んだ時の事です。
小さいつづらをお土産に持ち帰り、おじいさんが蓋を開けた時、中から大判小判が出てくると、少し考えて「…これ、食べられるの」と聞く子がいました。つづらがお弁当箱のように見えたようです。